

平成30年度沖縄県高齢者虐待の状況

沖縄県内における高齢者虐待事案報告件数は、194件でした。
(うち、養介護施設従事者等による高齢者虐待は、9件。)

高齢者虐待事案報告件数の推移(市町村別)

市町村名	H20年度	H21年度	H22年度	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度
合 計	141(0)	116(1)	179(1)	138(3)	176(0)	150(2)	145(3)	134(4)	143(9)	166(10)	194(9)
市部小計	118	107	146	110	148	128	135	121	129	143	167
1 那覇市	52	43	61	30	60	51	56	59	56	56	63
2 宜野湾市	0	8	7	7	9	13	13	12	17	9	5
3 石垣市	8	8	5	7	5	6	4	2	10	6	6
4 浦添市	0	0	6	4	5	4	2	8	6	12	8
5 名護市	0	2	2	1	1	0	0	0	0	3	4
6 糸満市	12	6	5	4	4	0	0	2	0	4	5
7 沖縄市	21	14	21	24	19	16	26	13	12	20	30
8 豊見城市	3	5	3	2	7	0	1	3	0	0	4
9 うるま市	18	16	23	15	16	23	18	9	13	16	21
10 宮古島市	2	5	11	16	21	12	11	9	13	8	9
11 南城市	2	0	2	0	1	3	4	4	2	9	12
郡部小計	23	9	33	28	28	22	10	13	14	23	27
12 国頭村	4	0	3	1	2	1	0	0	0	0	0
13 大宜味村	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
14 東村	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0
15 今帰仁村	0	0	0	0	1	0	1	2	0	1	0
16 本部町	1	1	1	0	1	0	0	0	3	8	4
17 恩納村	4	0	1	0	2	0	0	1	0	1	0
18 宜野座村	0	0	0	0	1	1	0	1	1	0	0
19 金武町	2	3	4	6	1	0	0	0	0	0	1
20 伊江村	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0
21 読谷村	1	0	0	2	1	4	2	2	0	2	1
22 嘉手納町	0	0	0	0	2	1	0	1	0	2	3
23 北谷町	1	0	5	4	1	0	2	1	1	2	5
24 北中城村	0	0	0	1	1	0	1	0	0	0	1
25 中城村	3	1	1	1	0	0	0	0	0	1	0
26 西原町	1	0	5	5	4	5	1	0	1	3	3
27 与那原町	1	0	0	0	1	1	2	1	4	1	3
28 南風原町	1	2	6	3	3	2	0	1	2	0	2
29 渡嘉敷村	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
30 座間味村	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0
31 粟国村	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0
32 渡名喜村	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0
33 南大東村	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0
34 北大東村	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
35 伊平屋村	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
36 伊是名村	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
37 久米島町	3	1	2	0	1	1	1	0	0	0	1
38 八重瀬町	1	1	5	5	2	4	0	2	2	1	2
39 多良間村	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
40 竹富町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
41 与那国町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

()内は養介護施設従事者等による虐待件数

H24年度迄は被虐待者1名につき1件としてカウントしていたが、H25年度からは同一家庭内で一体的に発生していると考えられる事例に関しては1事例としてカウントする。

虐待通報等件数

	平成30年度	平成29年度
本調査対象年度内に通報を受理した事例	353(27)件	295(16)件
対象年度以前に通報を受理し事実確認調査が対象年度となった事例	11(2)件	14(2)件
対象年度以前に通報受理・事実確認した虐待事例で、対応が対象年度となった事例	56(0)件	51(0)件
合計	420(29)件	360(18)件

()内は養介護従事者等の虐待通報等件数



平成30年度 養介護施設従事者等による高齢者虐待の状況
(H30.4.1～H31.3.31)

沖縄県内における養介護施設従事者等による高齢者虐待事案報告件数は9件で、被虐待者数は10人でした。

1 虐待を受けていた高齢者本人の状況

(1) 被虐待者の性別

性別	人数	割合
男性	3	30.0%
女性	7	70.0%
不明	0	0.0%
合計	10	100.0%

(2) 被虐待者の年齢階級

年齢階級	人数	割合
65歳未満障害者	2	20.0%
65～69歳	1	10.0%
70～74歳	0	0.0%
75～79歳	1	10.0%
80～84歳	0	0.0%
85～89歳	1	10.0%
90～94歳	4	40.0%
95～99歳	1	10.0%
100歳以上	0	0.0%
合計	10	100.0%

(3) 被虐待者の要介護度

要介護度	人数	割合
自立	0	0.0%
要支援1	0	0.0%
要支援2	1	10.0%
要介護1	0	0.0%
要介護2	0	0.0%
要介護3	1	10.0%
要介護4	3	30.0%
要介護5	5	50.0%
不明	0	0.0%
合計	10	100.0%

(4) 被虐待者の認知症日常生活自立度

自立度	人数	割合
自立または認知症なし	2	20.0%
自立度Ⅰ	1	10.0%
自立度Ⅱ	0	0.0%
自立度Ⅲ	5	50.0%
自立度Ⅳ	2	20.0%
自立度M	0	0.0%
認知症あるが自立度は不明	0	0.0%
認知症の有無が不明	0	0.0%
合計	10	100.0%

2 施設等のサービス種類

特別養護老人ホーム	2件
住宅型有料老人ホーム	3件
訪問介護等	1件
小規模多機能型居宅介護等	0件
通所介護等	3件

3 虐待を行った従事者等の職種

介護職員	9件
管理職	1件
経営者・開設者	0件

4 虐待の状況(複数回答)

種別	人数	割合
身体的虐待	5	50.0%
介護等放棄	1	10.0%
心理的虐待	2	20.0%
性的虐待	4	40.0%
経済的虐待	0	0.0%
合計(人数)	10	

5 市町村の措置(複数回答)

施設等に対する指導	7件
施設等への改善計画の提出依頼	9件
従事者等への注意・指導	3件

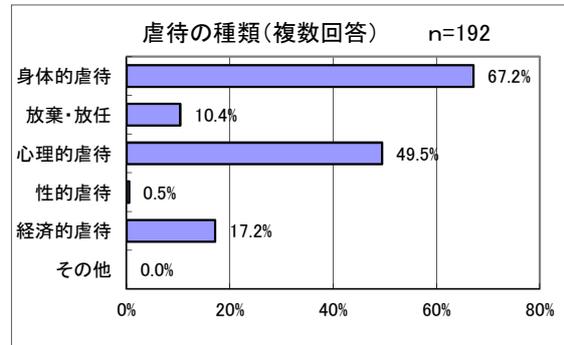
平成30年度 養護者による高齢者虐待の状況 (H30.4.1~H31.3.31)

沖縄県内における養護者による高齢者虐待事案報告件数は185件で、被虐待者数は192人でした。

1 高齢者虐待の種類

(1) 虐待の種類(複数回答)

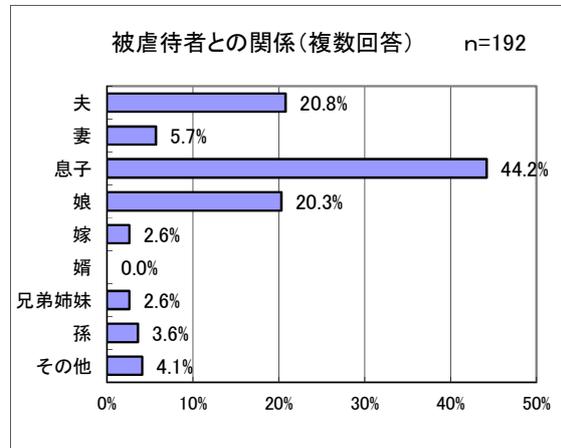
虐待種類	件数	割合
身体的虐待	129	67.2%
放棄・放任	20	10.4%
心理的虐待	95	49.5%
性的虐待	1	0.5%
経済的虐待	33	17.2%
その他	0	0.0%
合計	278	—
被虐待者数	192	—



2 主な虐待者の状況

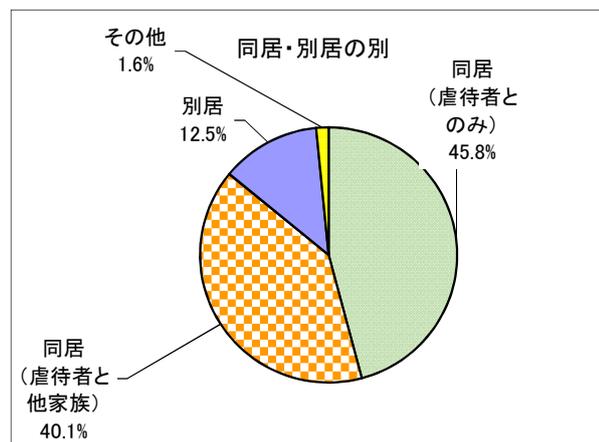
(1) 被虐待者と虐待者の関係(複数回答)

関係	件数	割合
夫	40	20.8%
妻	11	5.7%
息子	85	44.2%
娘	39	20.3%
息子の配偶者(嫁)	5	2.6%
娘の配偶者(婿)	0	0.0%
兄弟姉妹	5	2.6%
孫	7	3.6%
その他	8	4.1%
合計	200	—
被虐待者数	192	—



(2) 同居・別居の別

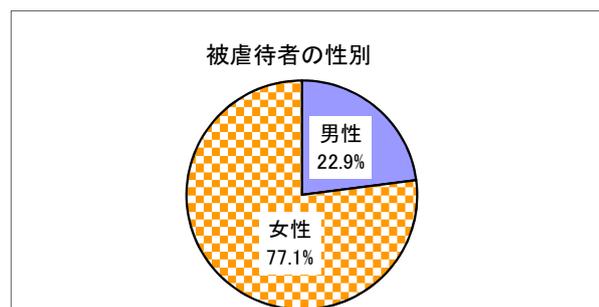
	件数	割合
同居(虐待者とのみ)	88	45.8%
同居(虐待者と他家族)	77	40.1%
別居	24	12.5%
その他	3	1.6%
不明	0	0.0%
合計	192	100.0%



3 虐待を受けていた高齢者本人の状況

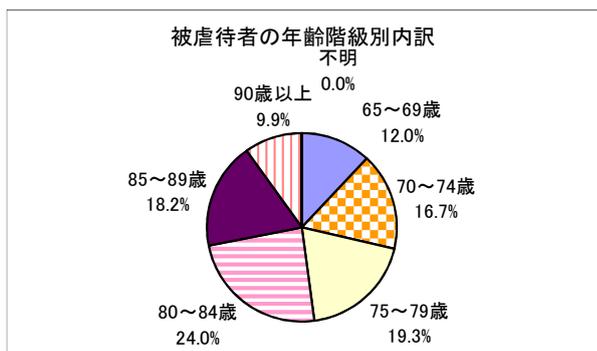
(1) 被虐待者の性別

性別	人数	割合
男性	44	22.9%
女性	148	77.1%
合計	192	100.0%



(2) 被虐待者の年齢階級

年齢階級	人数	割合
65～69歳	23	12.0%
70～74歳	32	16.7%
75～79歳	37	19.3%
80～84歳	46	24.0%
85～89歳	35	18.2%
90歳以上	19	9.9%
不明	0	0.0%
合計	192	100.0%



(3) 被虐待者の要介護度

要介護度	人数	割合
未申請	66	34.4%
申請中	10	5.2%
自立(認定非該当)	19	9.9%
申請不明	0	0.0%
要介護度不明	3	1.6%
要支援1	7	3.6%
要支援2	10	5.2%
要介護1	15	7.8%
要介護2	14	7.3%
要介護3	26	13.5%
要介護4	17	8.9%
要介護5	5	2.6%
合計	192	100.0%

要支援・要介護状態にある方
97人
50.5%

○被虐待者の認知症の日常生活自立度
(要介護認定済者のみ)

自立度	人数	割合
自立又は認知症なし	9	9.3%
I	23	23.7%
II	31	32.0%
III	25	25.8%
IV	8	8.2%
M	1	1.0%
認知症はあるが自立度不明	0	0.0%
認知症の有無が不明	0	0.0%
合計	97	100.0%

要介護認定者97人における認知症日常生活自立度「II以上」の者は67%であり、被虐待高齢者全体(192人)の33.9%を占めた。
自立度II以上
65人 67.0%
全被虐待者の 33.9%

4 市町村等への対応(複数回答)

対応	件数	割合
訪問調査による事実確認	267	139.1%
関係者からの情報収集	59	30.7%
立入調査	2	1.0%
虐待者との分離	92	47.9%
見守りの継続	24	12.5%
養護者(虐待者)の支援	55	28.6%
介護保険申請	16	8.3%
ケアプランの見直し	22	11.5%
成年後見の市町村長申立	16	8.3%
日常生活自立支援事業の活用	2	1.0%
その他	44	22.9%
合計	599	

高齢者虐待を判断した事例において、事実確認調査をほぼ実施している。

分離の方法として、緊急一時保護、老人福祉法に基づく措置、契約による介護保険サービスの利用などがある。

「その他」の内容として、個別ケース会議の開催、関係機関との連携、福祉サービス利用の促しなどがある。